

北海道では冬本番で寒さや積雪のピークを迎えています。

今年も『さっぽろ雪まつり』が開催されました。今年は2/4~2/11迄の8日間行われました。今回は雪まつりに向けての作業を紹介いたします。毎年1月中旬頃より製作が始まりますが、一番人気のある大雪像をどうやって作っているのかと思いますよね。陸上自衛隊・第11旅団北方方面隊と市民グループのボランティアの方々を中心メンバーに製作されています。

まずは一番大変な雪集めですが、雪像には除雪された雪は使用されません。なぜかと言うと、不純物が混ざっている雪は太陽光によって融解の速度が速く倒壊する可能性が高いからです。逆に積もった綺麗な雪はほとんど融解せず安全です。

雪集めには札幌周辺の石狩工業団地や里塚霊園などから輸送していますが、足りない時は中山峠まで取りに行っているそうです。大雪像1基制作するには約2,500トン(約トラック500台分)の雪が必要で、最終的には約32,500トンの雪が必要だそうです。

来年、機会があればぜひ皆様もお越し下さい。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

立春とは申しませんが、まだ寒さ厳しき日が続いていますが、皆様いかがお過ごしですか。

今回は高野山、比叡山とあわせ日本三大霊山に数えられる青森県『恐山』に行ってきました。

実際には『恐山』という山は存在せず、宇曽利(うそり)山湖を中心とする釜臥山、大尽山などの八峰を総称して『恐山』と呼ばれているそうです。『恐山』への入り口には、『三途の川』が流れ悪人は渡ることができないと言われていました。

『恐山』といえば地獄めぐり、岩場から硫黄泉が湧出し、まさに『地獄』のような景色が広がる中、それらをめぐり『無間地獄』『金堀り地獄』『賭博地獄』など、136の地獄、この世のものとは思えない独特の地形に魅了されながら、ぐるりとめぐるのは、約40分です。

廻った後は恐山温泉があり、さっぱり。入山者は誰でも入浴することができます。流石に一人では寂しくて(怖くて)入浴出来ませんでした。

『恐山』に行く機会があれば恐山温泉に入ってみて下さい。

仙台営業所(所長:山田 義一)

KOYORAD

世界の拠点から
-From the base in the world-



~24時間引き取りOK~

KHEの正門を入ったところに、巨大な緑色のロッカーが出現。高さ3m、長さは約7mもあり、大小様々な扉がついています。駅構内のコインロッカーにも似ていますが、昨年暮れに設置されたこのロッカーは今ではKHEの社員にとってなくてはならない存在です。

中国でのネット通販は『アリババ陶宝網』や『京東』などまたたく間に普及し、今年年間50兆円を超える巨大市場に成長しています。私もその便利さ、手軽さから月に数回は何かを購入しています。

スマホ片手にソファに寝転がりクリック一つで数日後には手元に。日用品、スポーツ用品、食品から高額な商品まで何でも買えてしまいます。時には偽物をつかまされてしまうこともあるようですが、代金は商品確認後に最終決済という仕組みがとられており、一定のガード機能が施されています。KHEでは若い独身社員が多いため、ネットで頼んだ商品は、会社に設置された専用ボックスに到着。携帯メッセージで届いたパスワードをかざせば24時間引き取りOKです。

ロッカーは通販会社と運送会社の負担により無料で設置されています。会社側は設置場所を提供する必要がありますが、人数の多い工場やオフィスビル、アパートではこのような宅配ロッカーが次々と設置されています。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)



今回は、代官山にあるフレンチレストラン『Le Sample(ル・サンプル)』をご紹介します。

ビバリーヒルズのラ・シェネガ通りでフレンチレストランを営んだ後、12年ほど前に東京に戻り広尾で4年。その後、代官山で今のル・サンプルをオープンさせるという経歴を持つオーナーの菊池さん。そこでは深く長い経験から成す深みのあるフレンチを味わうことができます。

実はLAのお店にはナンシー・レーガン夫人が度々来店しロサンゼルスタイムズに掲載されたこともあります。また存命のジャズピアニストのジョー・サンプルも轟然とされていたとのことで、店名もそのジョーが由来とのことです。

カウンター7席のみのフレンチレストランですが、店内はジョーのジャズが流れ、カウンター席からはシェフが作る料理を眺めることができ、日本の割烹料理屋さんのような感覚でアットホームな温かみのあるとても気さくなお店でした。

東京営業所(所長:木下 敦裕)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は名古屋市東区にある三菱UFJ銀行貨幣資料館を紹介いたします。

ここはその名のとおり三菱UFJ銀行(旧東海銀行)の企業資料館で、旧東海銀行赤塚支店跡になります。(見た目の建物外観はいかにも銀行っぽいです。)

館内では文字通り日本の古い貨幣が年代順に展示されており、貨幣だけでなく江戸時代の両替屋なども復元展示されています。また、日本の古い貨幣だけでなく世界の古い貨幣も展示紹介されており、クレオパトラや古代ローマ時代の貨幣も展示されています。

各国の古い貨幣を見ていて気になったのは、紐などを通すためと思われるのが何故か日本や中国・朝鮮の古い貨幣は、有名な『和同開珎』なども含めて真ん中に四角い穴が開いている形状が多いようです。

他には旧東海銀行が収集した歌川広重の東海道五十三次の浮世絵も常設展示されていました。

現代の貨幣とは異なる世界の古い貨幣を皆様も見に行かれてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

帰省などで、手土産を考えるのが大変ですよ。SAで売っているお菓子などは新製品が発売され、余計選ぶのに悩みます。私も神戸・大阪・京都・奈良など関西圏の銘菓か、それらしい物をランダムに選択する様になっています。

ちょっと前の新製品は、有名パティシエが作った…とか、お店のブランド菓子が勝負というのが多かったのですが、最近の新製品はパッケージやデザインにこだわった物が多くなっています。ようはインスタ映えする箱や中身のデザインが売れる要素の様な気がします。

今回おみやげにチョイスしたのは、『KYOTO BEAUTY-京娘もち肌どら焼き』。豆乳入りのふわふわもちもちの生地に、つぶ餡をたっぷりはさま込んだ美味しいどら焼き。パッケージには舞妓さんを描いた絵、中身のどら焼きにも舞妓さんの顔が描かれています。

遠くからパッと見ても京都土産と分かり、説明の必要も無し。外国人にもうけるでしょう。味も美味しく、今後どんどん見かける様になるかもしれませんね。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

新年明けてから忙しい毎日が続いていますが皆様お変わりはありませんか。季節の変わり目ですのでくれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。

さて、先日久しぶりに遊漁船に乗って釣りに行ってきました。場所は長崎県の壱岐と対馬の間に位置する『七里ヶ曾根』と呼ばれる名スポットです。

今回は友人のオスমেで、「乗れば釣れる!釣らせてくれる有名な遊漁船!」という口車に乗せられ、心の中では「もう釣れた。今夜は大漁!」と大船に乗ったつもりでした。当日AM5:00出船。たまに乗る遊漁船とは違い、船の中が油臭くない高級クルーザーのため、しっかり仮眠も取れて非常に快適です。

博多湾から約2時間走って現地到着。気持ち高らかに200gのオモリを水深100mの底まで落とします。隣にいた女性アングラーが早々に75cmの真鯛を釣り上げたところで、船上の釣り人全員がテンションMAX状態。釣った魚をどうやって食べるかばかり考えていました。それから3時間、まったくアタリがありません。

鱒、ヒラマサ、真鯛、アコウと入れ食いになる予定が、周りの誰を見ても釣れていません(汗)。結局、釣れたのは60cmちかいアオナ(アオハタ)が4本と貧果で終わりました。しかも船上で釣れた真鯛は最初に釣れた1匹だけというとても厳しい一日でした。しばらくはまた釣りから遠ざかる日々となりますが、次回こそはビッグワンを目指して頑張りたいと思います。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

最近土・日の朝に1時間ほど家の近くの川沿いを走ったり、歩いたりしています。週末は運動をしている人たちが混んでいますが楽しく走ったり、歩いたりすることができます。週末しか時間がとれないのでさすがに運動した後、足がだいぶ疲れますが、いい汗をかけてとても楽しいです。

走っているコースの横にはいろんな食べ物、飲み物を売っている屋台があります。商売をしているお母さんたちは家庭料理を売ったりしています。一般的なジャカルタ料理だけではなく、インドネシアの民族料理もあります。中にはたこ焼きを売っている屋台もあり、美味しいです。

せっかくカロリーを燃やすために運動しているのに、休憩中に高カロリーな食べ物を食べては、意味があるのかと思いますが、屋台で食べる楽しみに誘惑されてつい食べてしまいます。

今までは週末にゴルフをやっていましたが、現在は朝走ったり、歩いたりしたほうが楽しく、ゴルフをやる回数が減りました。

週末の朝起きて運動して屋台で美味しい料理をちょっと食べて楽しい一日を過ごせることがHappy Lifeの一つです。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

早いもので今年の最初の月が終わりました。こちらに入ってくるニュースでは日本は寒冷前線の影響で不安定な気候が続いている様ですが、アメリカでも北西部を中心に大寒波に襲われています。先日6つの州でその日の南極の最低気温(氷点下32度)を下回る地域があり、各地で『極寒警報』が発令されました。

2月3日に行われる第53回スーパーボウルの開催地の南部アトランタでも氷点下5度まで冷え込んでいます。

さて、今年のスーパーボウルですが、対戦カードはご存知かもしれませんが、3年連続11度目の出場となるAFC王者のニューイングランド・ペイトリオッツと、17年ぶりにNFC王者に輝いたロサンゼルス・ラムズです。両チー

ムともカンファレンスの優勝決定戦を延長戦で勝ち抜いてきただけに、今年は例年以上に熱戦を期待しています。

ロス近郊では異常な盛り上がりですが、残念ながら一部の地域ではスーパーボウルを歓迎出来ない雰囲気もあります。それはNFCの優勝決定戦の残り時間1分で起こった史上最大級の誤審騒動です。この誤審騒動は勿論メディアでも一斉に取り上げられ、スポーツのみならず朝晩の報道ニュースでも話題となりました。リーグのコミッショナーもこの誤審を認めており、「レフリーも人間だ」と発言しています。ただし今のルールでは再試合は不可能になっているため相手のニューオーリンズ地域及びセインツファンの心情は穏やかではない様です。

KCS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

旧正月が過ぎ、戌年にサヨナラし、亥年を迎えました。

新しい気持ちで新年を迎えるために、二日間かけ手が届く所すべて、家の隅々まで綺麗に掃除しました。その二日間はとても疲れましたが、お客様を招くのに十分なほど綺麗になり、私たちは満足感で笑顔になりました。そして、伝統的なクッキーを準備しました。

子供たちは『アンパオ』と呼ばれる赤い封筒に入ったお年玉を貰う為、靴を用意し、期間中たくさんの家族、親戚、友人に会うことを楽しみにしています。

伝統に従って新年の最初の日、敬意を表す為に両親の家を訪ねなければなりません。そしてその後、他の親戚や友人の家に行くことができます。

最近、特に大都市の方は集まる時間がほとんどないので、旧正月のような特別な日はとって良い機会です。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

オランダの冬は毎年気温が氷点下まで下がり、凍結し雪が降ります。実際、晴天でも大体凍結していますが、特に週末は寒い日でも「太陽は天国にいる」と言って外に出かけます。私たちは特に雪が降ったときは、素敵な景色のある森へ行きます。

数時間歩いて回れる場所ではなく、飲食できる施設がある場所ということで、今回はベルギーとの国境に近いオランダ南部へ行きました。『ユトレヒト』という地名で、とても美しい樹木が茂った地域です。ここにはステキな古い農場を飲食できる居酒屋に変えたお店があります。

その名物が目玉焼きですが、パン、数種類のスライスしたお肉、チーズや野菜を使用した代表的なオランダ風です。この森で数時間過ごした後、『アウツメーター』と呼ばれる代表的な目玉焼きを食べにいくのがいいでしょう。

ちなみにこちらを注文する際は卵の数を選ぶことができます。この地域を散歩するのは本当に心地よく、寒くないこの冬の気候でも非常に寒くても歩き回れることは健康的ですね。

これは私たちの冬の余暇の過ごし方でもあります。

KIO(オランダ)(Jan van Mier)